（別紙4（2））

事業所名　グループホーム悠祐

作成日：平成 27 年 2月 8 日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2・35	自治会活動への参加が少なく、また、地域住民との交流も少ない。 防災面の協力体制も未整備である。	職員及び利用者が、自治会活動に積極的に参加し、地域との交流を活性化する。	①自治会の年間行事等への積極的参加 ②運営推進会議等での地域の方との積極的な交流 会議参加者と共に防災訓練等を実施 ③GHとしての地域への貢献を検討	12ヶ月
2	10	家族同士の交流の場が少なく,行事等を通じた家族同士の交流促進、家族同士の話し合いの場を作ること等の検討が必要	家族同士が交流し、意見交換できるような場を設定し、家族等が意見要望を出しやすい環境を作っていく。	①運営推進会議へ複数家族の参加を促す。 ②家族が参加できる行事を多く設定し参加を促し、参加後の感想・意見を聴取し、次行事運営に反映させる。 特にクリスマス会は、多くの家族が参加されるため、家族同士が懇談できる場面設定を行い、交流を促進する。 ③ホームの様子を知り身近に感じていただくため、運営推進会議での意見や行事の実施状況等の「お知らせ」をさらに充実させる。 ④家族会立ち上げに向け準備	12ヶ月
3	45	浴室内にとりつけられた入居者ごとのシャンプー等の収納カゴは、入浴時の圧迫感や清掃時の妨げともなる為、収納要領の改善が必要	脱衣所に収納し、必要時に準備する。	浴室内のカゴを撤去し、脱衣所に収納棚を設置する。	2ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。